

令和7年度市民アンケート調査報告書

令和7年9月

目次

1 調査概要	1
2 調査結果	1
1) 性別	1
2) 年齢	1
3) 居住地区	2
4) 居住年数	2
5) 世帯構成	2
6) 職業	3
7) 通勤・通学先	3
問1 中央市の魅力について	4
問2 中央市の住みやすさについて	5
問3 中央市への居留意向について	5
問3-1 移転したい理由について(複数回答)	6
問3-2 移転したいと思い始めた時期について	6
問4 中央市の取組に対する重要度と満足度の評価	7
R7調査結果	7
R6調査結果	8
R6調査とR7調査の比較	9
問5 中央市の子育て環境について	10
問6 妊娠・出産に安心して臨むことができ、子どもが健やかに育つかについて	10
問7 子育て世代が安心して子どもを産み育てるために充実すべきこと(複数回答)	11
問8 子どもたちの教育環境が充実しているかについて	12
問9 「まごころ」教育が推進されているかについて	12
問10 教育にかかわる市の取り組みについて推進してほしいこと(複数回答)	13
問11 総合会館等で行う生涯学習講座が充実しているかについて	14
問12 市で行う生涯学習や文化活動、スポーツ活動について取り組んでほしいこと(複数回答)	14
問13 日頃から健康維持のための取り組みをしているかについて	15
問14 日常生活の中で、保健・医療・福祉分野に関して感じる不安や不満について (複数回答)	15
問15 高齢者が安心して暮らすことができるまちだと思うかについて	16
問16 災害用備蓄品について	16
問17 地震、水害、山地惨害などへの備えで必要なこと(複数回答)	17

問18	市内道路の通行しやすさについて	17
問19	リニア中央新幹線に期待することについて(複数回答)	18
問20	地域の自治会の担い手としての参加状況について	18
問21	参加しても良いと考える公共的活動について(複数回答)	19
問22	市民の意見が市政に反映されているかについて	19
問23	中央市からの情報の入手しやすさについて	20
問24	中央市からの情報の入手先について	20
問25	中央市に誇りや愛着を感じているかについて	21
問26	カーボンニュートラル宣言の認知度について	21
問27	脱炭素に関心があるかについて	22
問28	脱炭素に誰が取り組むべきかについて	22
問29	脱炭素を意識して行動しているかについて	23
問29-1	脱炭素に取り組めていない理由について	23
問30	脱炭素の効果的な取り組みについて	24

1 調査概要

調査期間:令和7年8月5日から19日まで

配布数:1,998通(郵送配布)

回収数:郵送回収454通、Web回答439通、合計896通

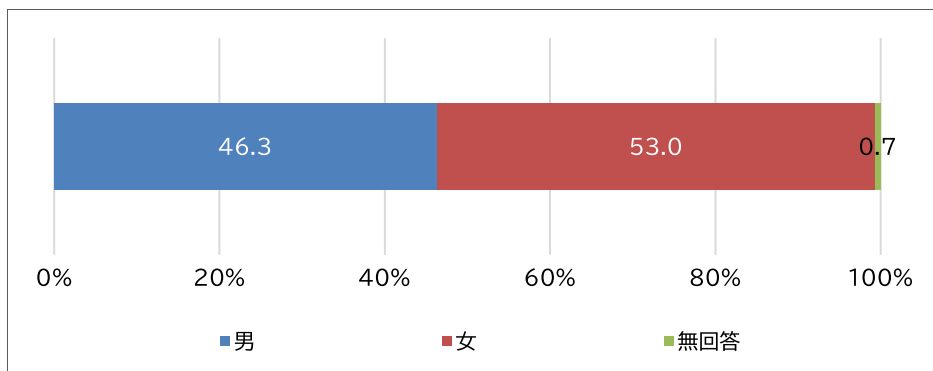
回収率:44.8%

2 調査結果

特に表記がない限り、サンプルサイズ(n)は896、単位は(%)

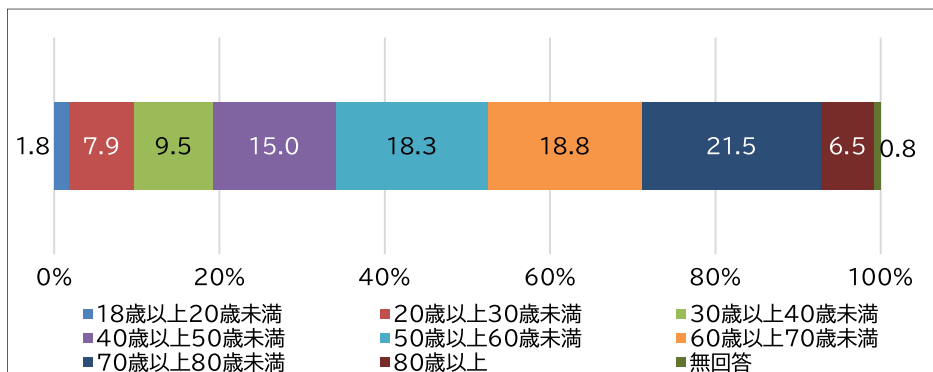
1) 性別

回答者の性別は、「女性」の割合が多くなっています。



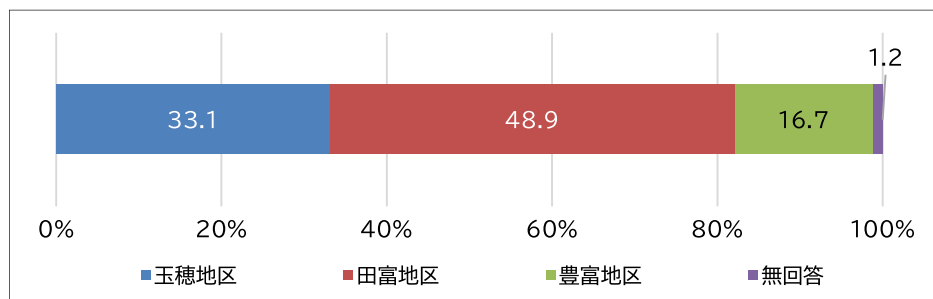
2) 年齢

回答者の年齢は、「70歳以上80歳未満」が最も多くなっています。60歳以上が全体の約半数を占めています。



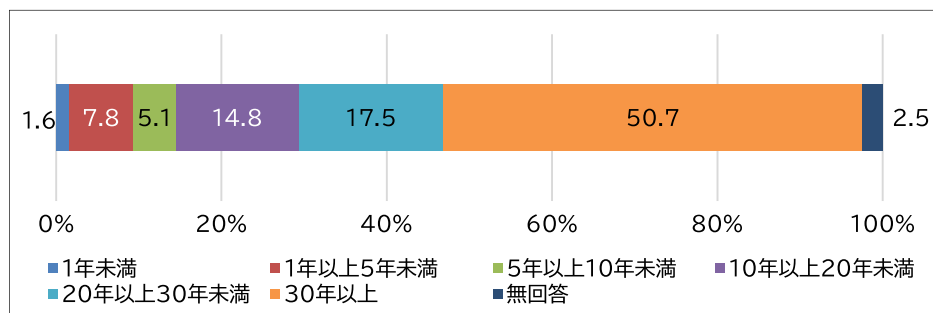
3) 居住地区

居住地区は、「田富地区」が半数近くを占めています。



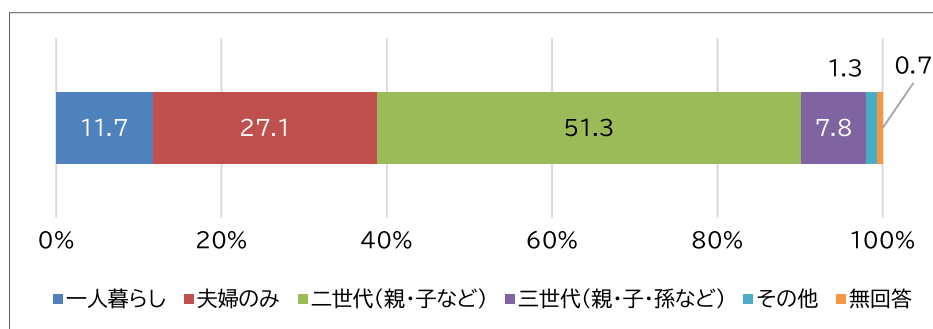
4) 居住年数

居住年数は、「30年以上」が最も多くなっています。



5) 世帯構成

世帯構成は、「二世帯(親・子など)」が最も多く、「夫婦のみ」が続いています。

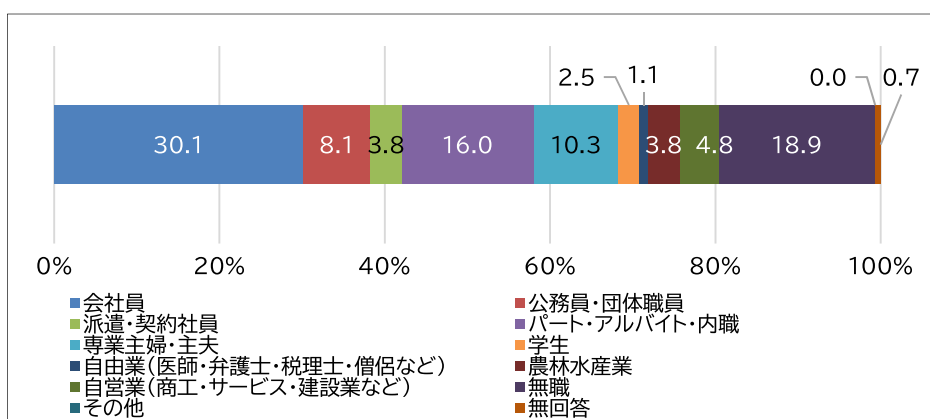


○その他

回答	回答数
兄弟	6
事実婚	2
同居人	2
母子家庭子供3人	1

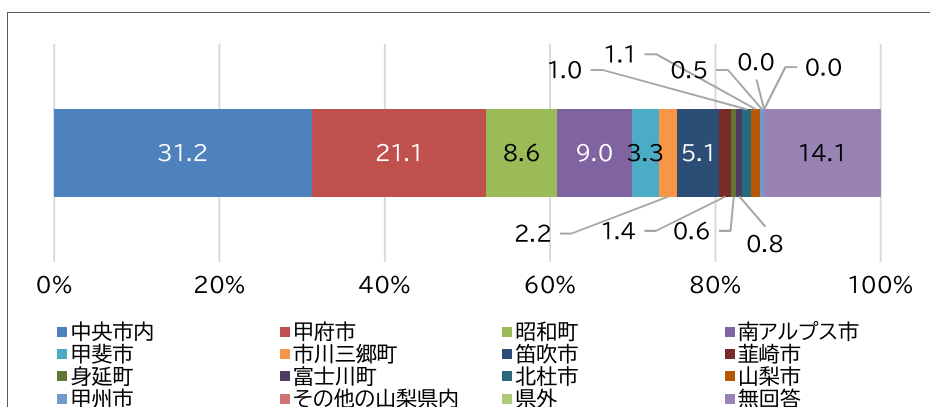
6) 職業

職業は、「会社員」が最も多く、「無職」が続いています。



7) 通勤・通学先

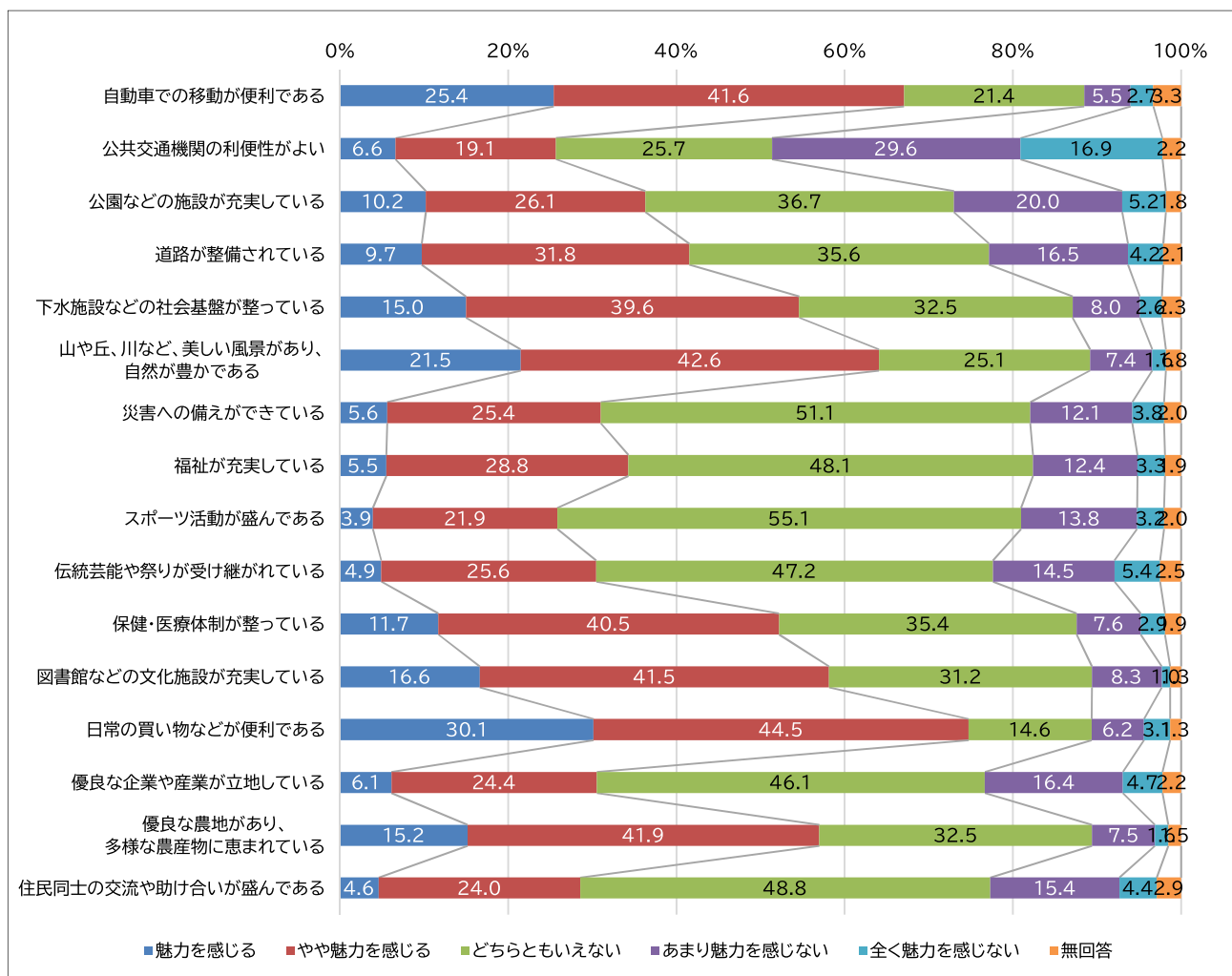
通勤・通学先は、「中央市内」が最も多く、「甲府市」が続いています。



問1 中央市の魅力について

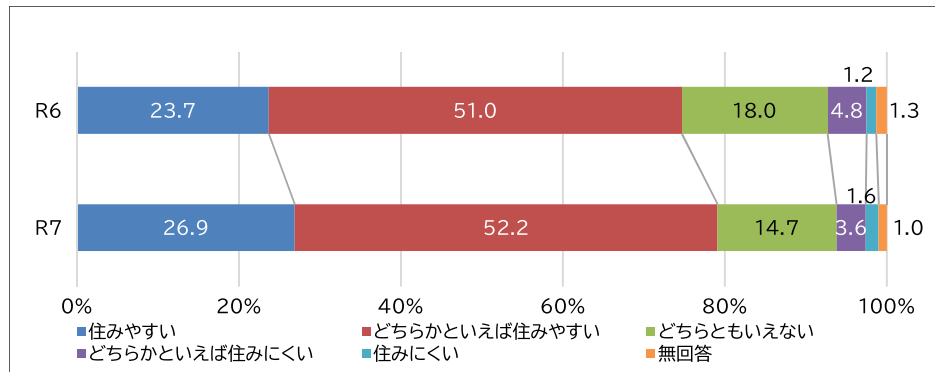
中央市の魅力について、「魅力を感じる」「やや魅力を感じる」の割合が高い項目は、「日常の買い物などが便利である」74.6%、「自動車での移動が便利である」67.0%、「山や丘、川など、美しい風景があり、自然が豊かである」64.1%、「となっています。

一方で「全く魅力を感じない」「あまり魅力を感じない」の割合が高い項目は「公共交通機関の利便性がよい」46.5%となっています。



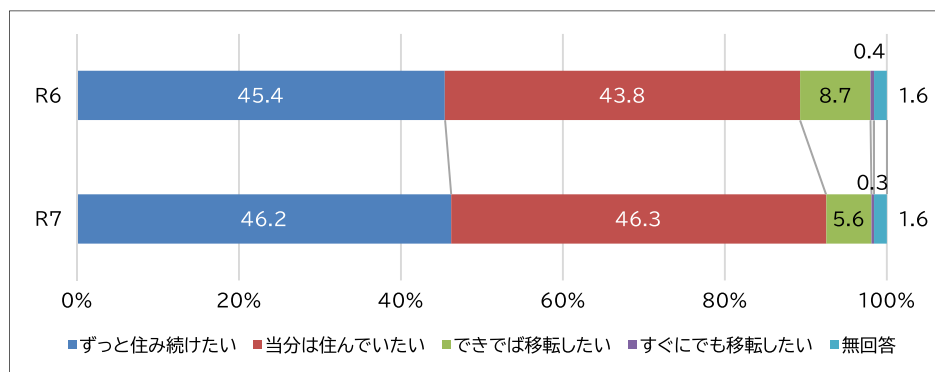
問2 中央市の住みやすさについて

中央市の住みやすさについては、「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」が合わせて79.1%となっています。令和6年に比べて割合はやや増加しています。



問3 中央市への居住意向について

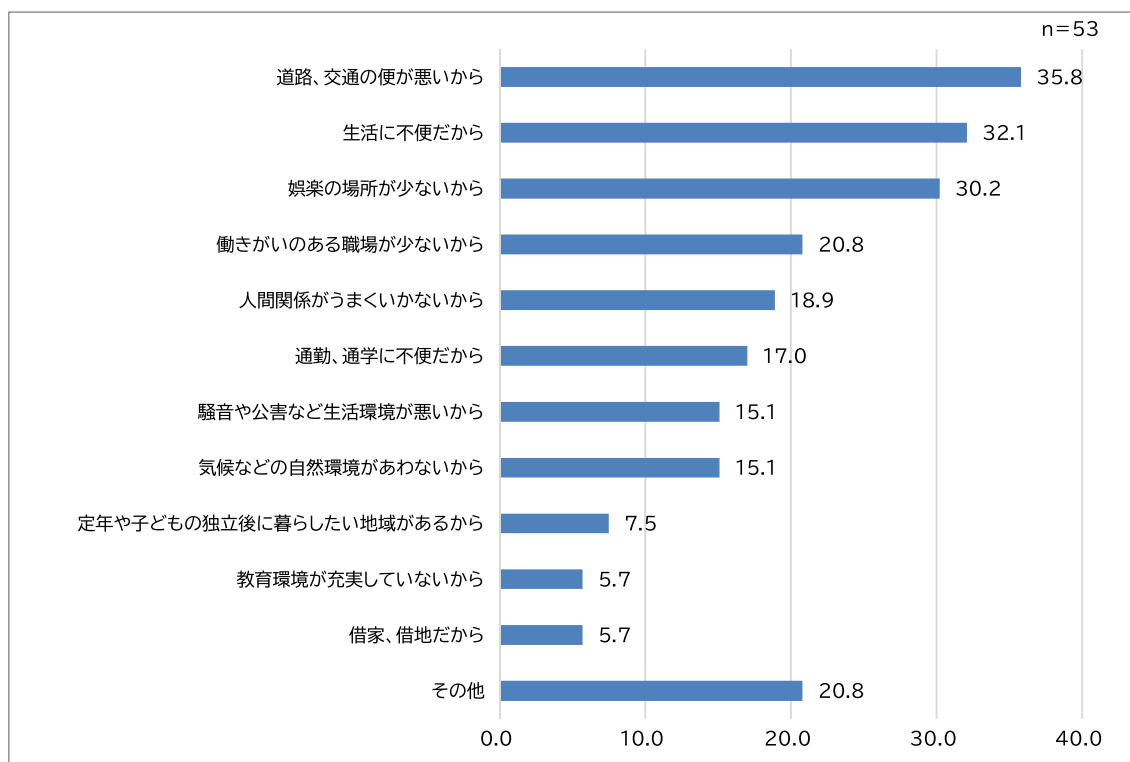
中央市への居住意向については、「ずっと住み続けたい」と「当分は住んでいたい」が合わせて92.5%となっています。令和6年に比べて割合はやや増加しています。



問3で「3」または「4」と回答した方にお聞きします。

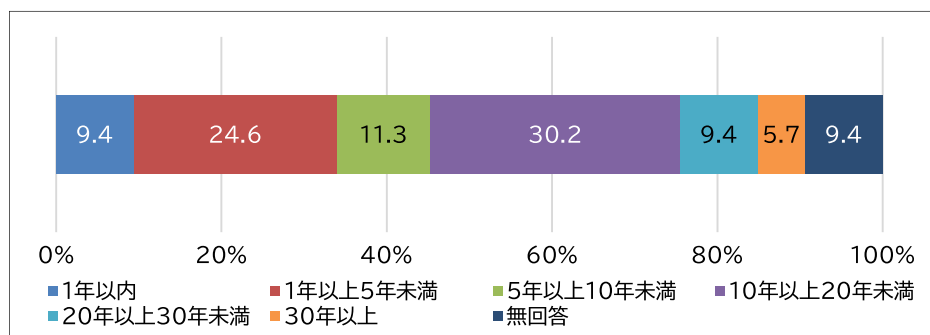
問3-1 移転したい理由について(複数回答)

移転したい理由については、「道路、交通の便が悪いから」が35.8%で最も多く、以下「生活に不便だから」32.1%、「娯楽の場所が少ないから」30.2%が続いています。



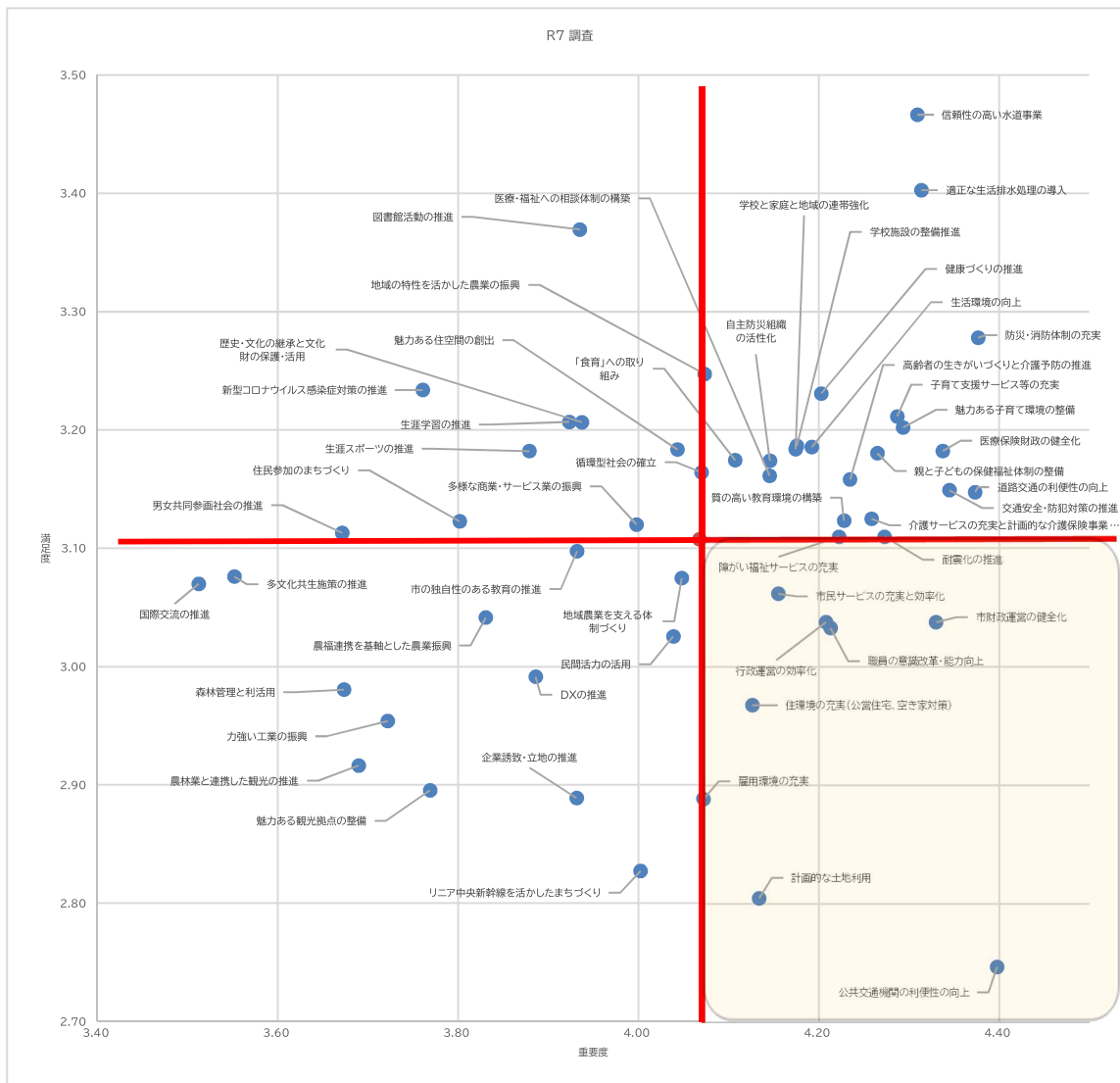
問3-2 移転したいと思い始めた時期について

移転したいと思い始めた時期については、「10年以上20年未満」30.2%が最も多く、次いで「1年以上5年未満」24.6%が多くなっています。



問4 中央市の取組に対する重要度と満足度の評価

R7調査結果



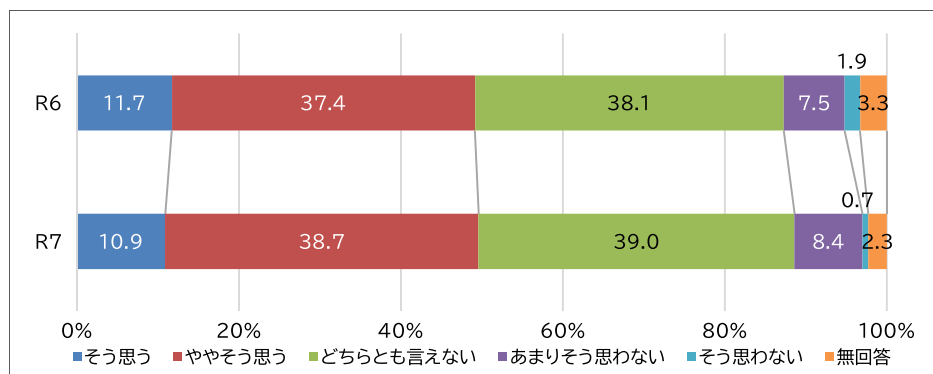
R6調査とR7調査の比較

重要度が高く満足度が低い項目については、令和7年調査では令和6年調査と比較して項目が減少しています。

	R7調査	R6調査
「重要度が高く満足度が低い」とされた項目	市民サービスの充実と効率化	市民サービスの充実と効率化
	行政運営の効率化	行政運営の効率化
	市財政運営の健全化	市財政運営の健全化
	職員の意識改革・能力向上	職員の意識改革・能力向上
	計画的な土地利用	計画的な土地利用
	雇用環境の充実	雇用環境の充実
	公共交通機関の利便性の向上	公共交通機関の利便性の向上
	住環境の充実(公営住宅、空き家対策)	住環境の充実(公営住宅、空き家対策)
		道路交通の利便性の向上
		障がい福祉サービスの充実
		リニア中央新幹線を活かしたまちづくり
		耐震化の推進
		質の高い教育環境の構築

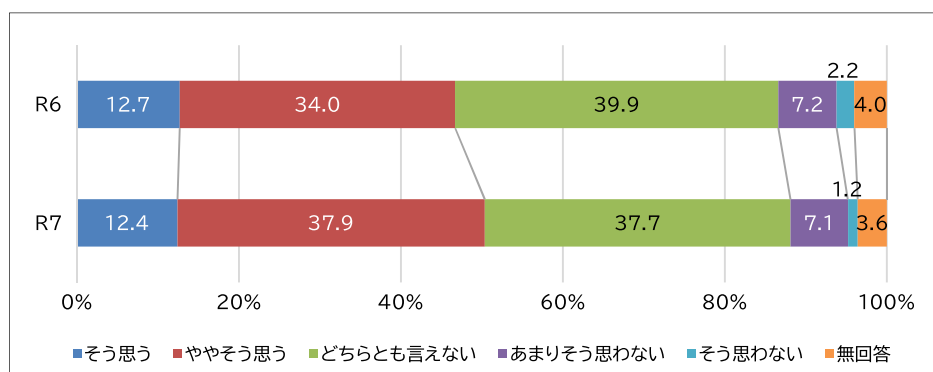
問5 中央市の子育て環境について

中央市には子育てしやすい環境が整っているかについては、「そう思う」と「ややそう思う」が合わせて49.6%となっています。令和6年に比べて大きな変化はありません。



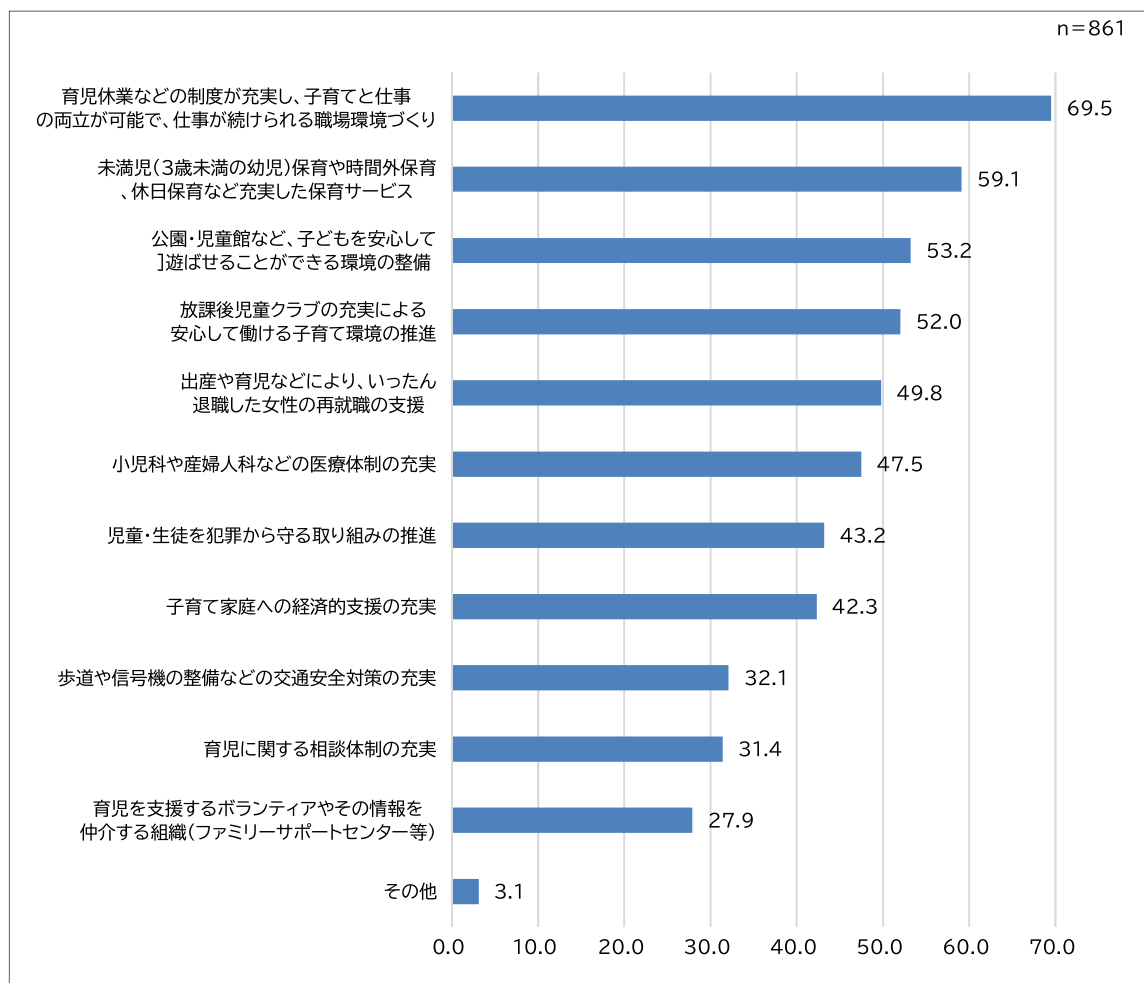
問6 妊娠・出産に安心して臨むことができ、子どもが健やかに育つかについて

妊娠・出産に安心して臨むことができ、子どもが健やかに育つかについては、「そう思う」と「ややそう思う」が合わせて50.3%となっています。令和6年に比べて割合は増加しています。



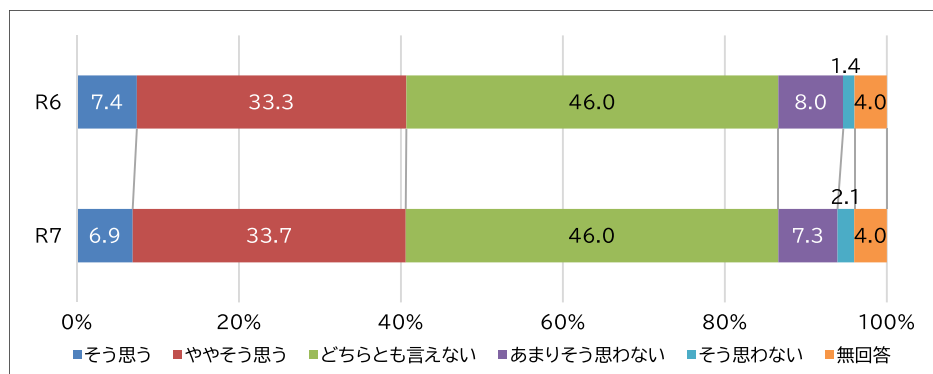
問7 子育て世代が安心して子どもを産み育てるために充実すべきこと(複数回答)

子育て世代が安心して子どもを産み育てるために充実すべきことについては、「育児休業などの制度が充実し、子育てと仕事の両立が可能で、仕事が続けられる職場環境づくり」69.5%が最も多く、以下「未満児(3歳未満の幼児)保育や時間外保育、休日保育など充実した保育サービス」59.1%、「公園・児童館など、子どもを安心して]遊ばせることができる環境の整備」53.2%が続いています。



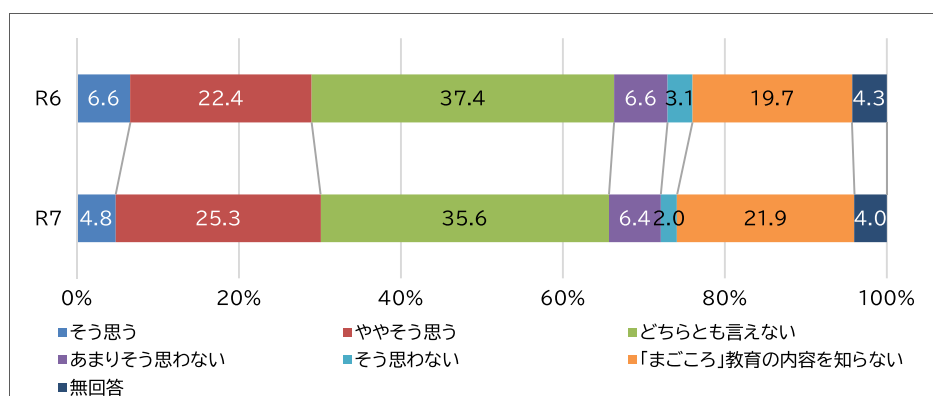
問8 子どもたちの教育環境が充実しているかについて

子どもたちの教育環境が充実しているかについては、「そう思う」と「ややそう思う」が合わせて40.6%となっています。令和6年に比べて大きな変化はありません。



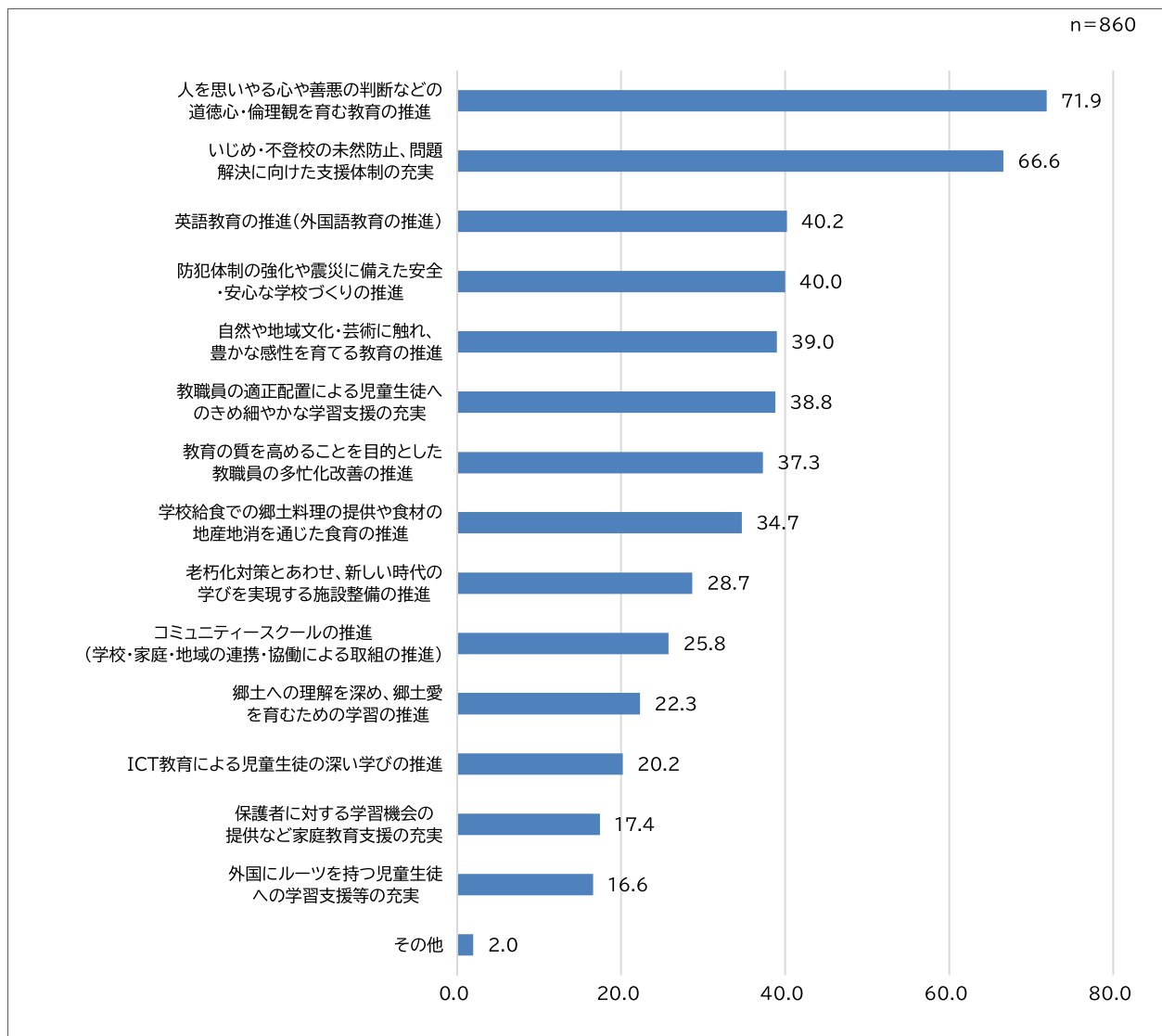
問9 「まごころ」教育が推進されているかについて

「まごころ」教育が推進されているかについては、「そう思う」と「ややそう思う」が合わせて30.1%となっています。令和6年に比べて割合はやや増加しています。「まごころ」教育を知らないとの回答もやや増加しています。



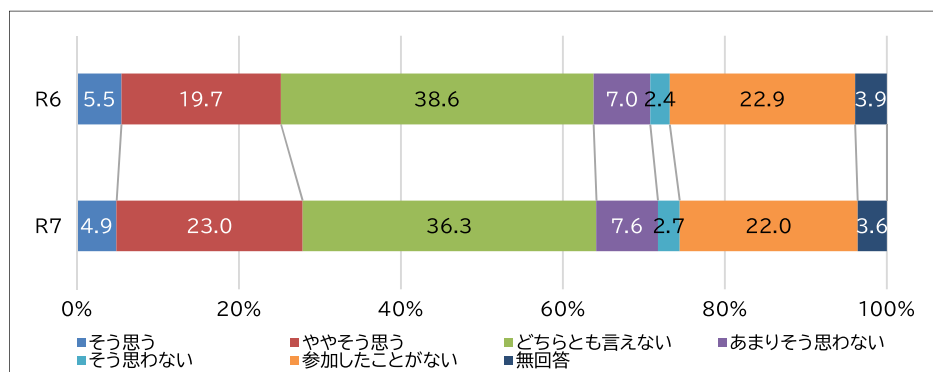
問10 教育にかかわる市の取り組みについて推進してほしいこと(複数回答)

教育にかかわる市の取り組みについて推進してほしいことについては、「人を思いやる心や善悪の判断などの道徳心・倫理観を育む教育の推進」71.9%が最も多く、次いで「いじめ・不登校の未然防止、問題解決に向けた支援体制の充実」66.6%が多くなっています。



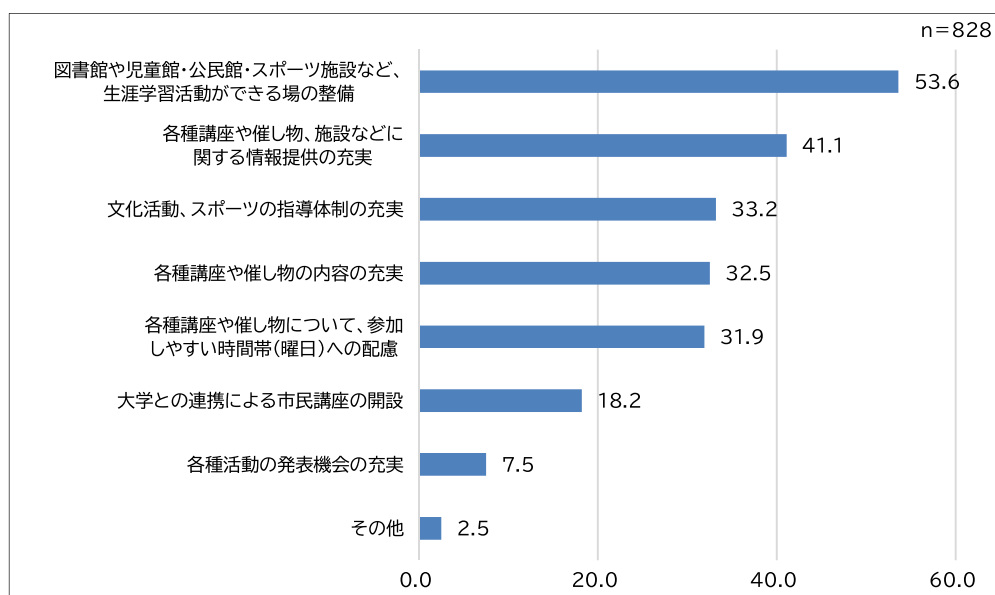
問11 総合会館等で行う生涯学習講座が充実しているかについて

総合会館等で行う生涯学習講座が充実しているかについては、「そう思う」と「ややそう思う」が合わせて27.9%となっています。令和6年に比べて割合は増加しています。一方で「参加したことがない」との回答は22.0%となっています。



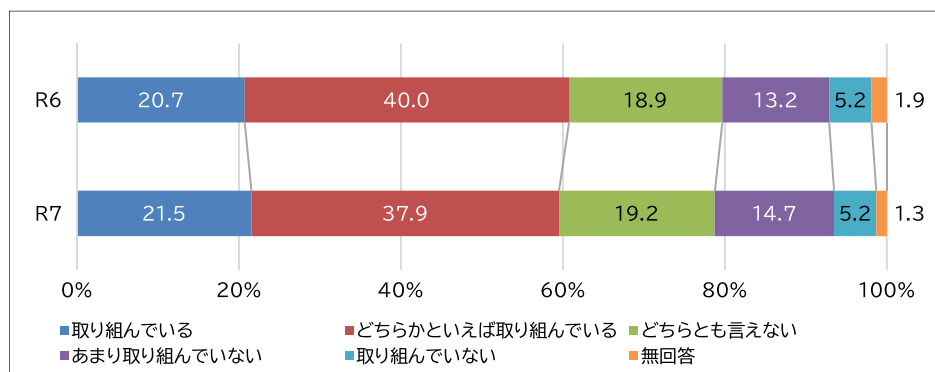
問12 市で行う生涯学習や文化活動、スポーツ活動について取り組んでほしいこと（複数回答）

市で行う生涯学習や文化活動、スポーツ活動について取り組んでほしいことについては、「図書館や児童館・公民館・スポーツ施設など、生涯学習活動ができる場の整備」53.6%が最も多く、次いで「各種講座や催し物、施設などに関する情報提供の充実」41.1%が多くなっています。



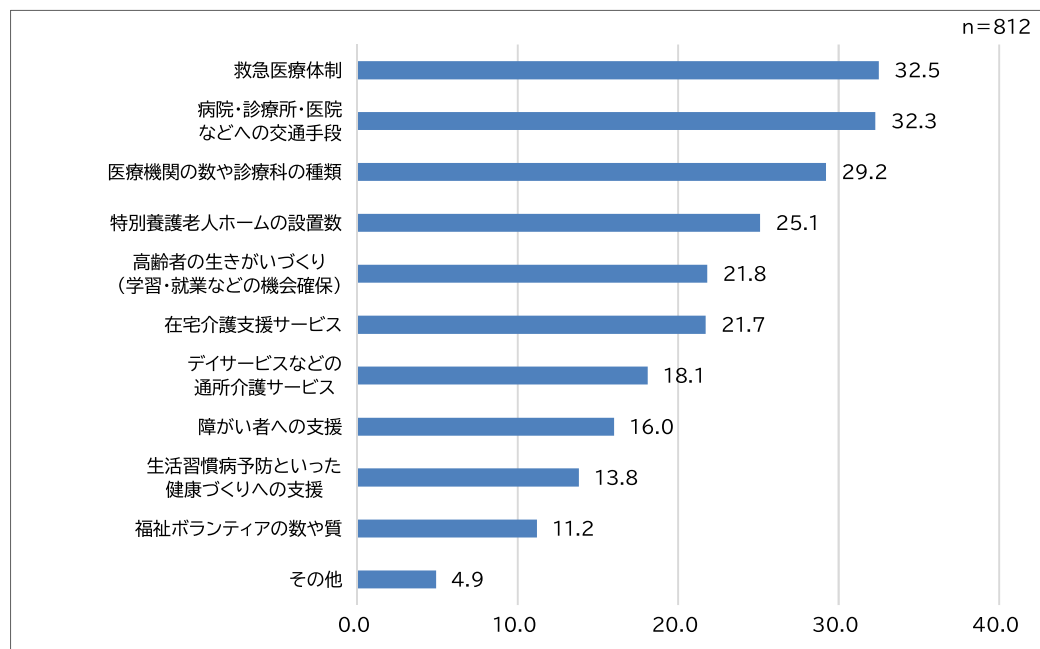
問13 日頃から健康維持のための取り組みをしているかについて

日頃から健康維持のための取り組みをしているかについては、「取り組んでいる」と「どちらかといえば取り組んでいる」が合わせて59.4%となっています。令和6年に比べて割合はやや減少しています。



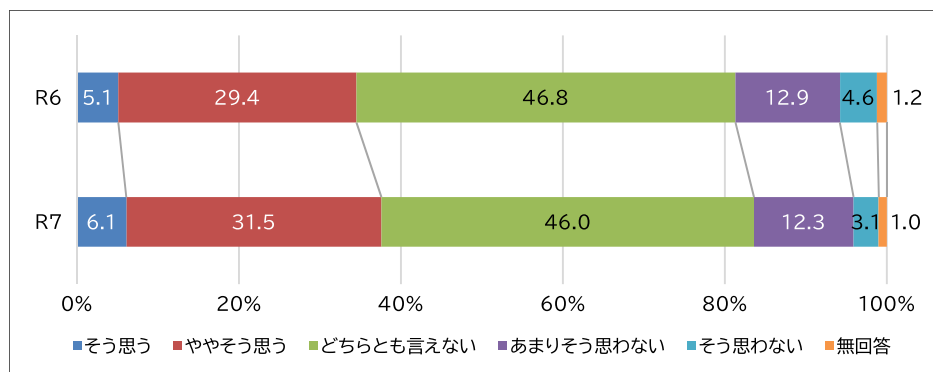
問14 日常生活の中で、保健・医療・福祉分野に関して感じる不安や不満について (複数回答)

日常生活の中で、保健・医療・福祉分野に関して感じる不安や不満については、「救急医療体制」32.5%が最も多く、次いで「病院・診療所・医院などへの交通手段」32.3%が多くなっています。



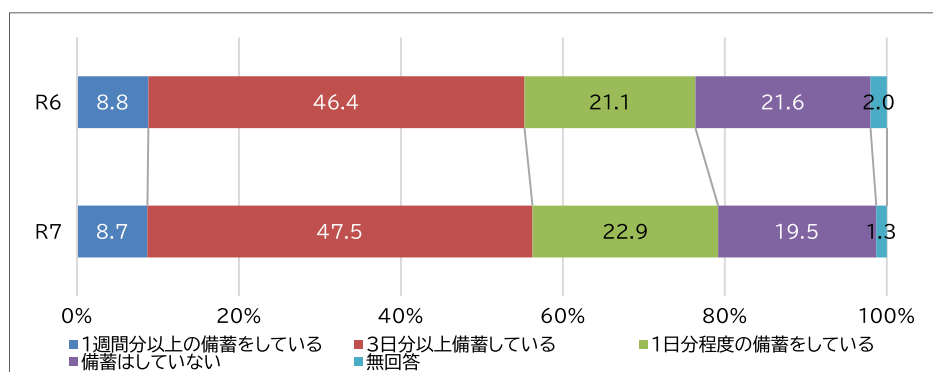
問15 高齢者が安心して暮らすことができるまちだと思えるかについて

高齢者が安心して暮らすことができるまちだと思えるかについては、「そう思う」と「ややそう思う」が合わせて37.6%となっています。令和6年に比べて割合は増加しています。



問16 災害用備蓄品について

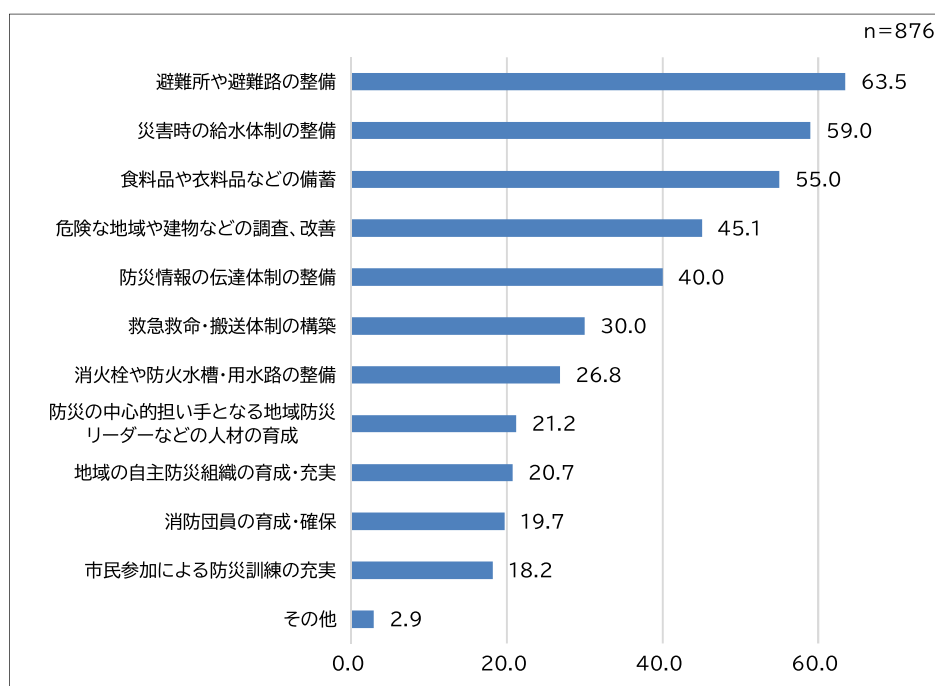
災害用備蓄品については、「1週間分以上の備蓄をしている」が8.7%、「3日分以上備蓄している」が47.5%、「1日分程度の備蓄をしている」が22.9%となっています。令和6年に比べて割合は増加しています。



問17 地震、水害、山地惨害などへの備えで必要なこと(複数回答)

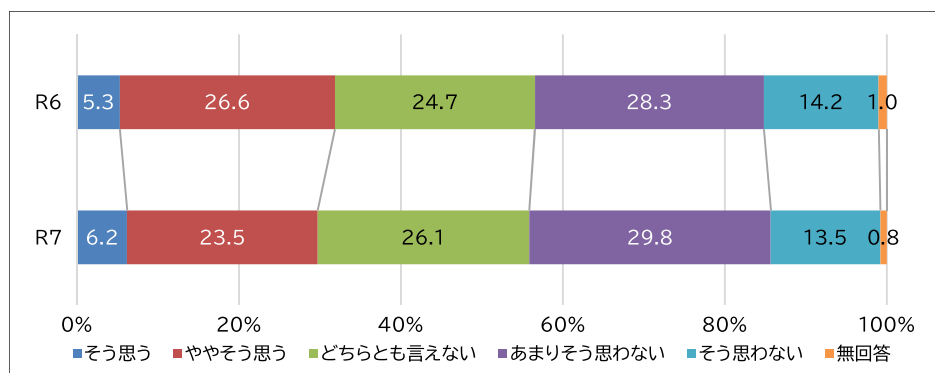
地震、水害、山地災害など大規模災害時の備えとして、必要なことについては、「避難所や避難路の整備」63.5%が最も多く、以下「災害時の給水体制の整備」59.0%、「食料品や衣料品などの備蓄」55.0%が続いています。

一方で、「市民参加による防災訓練の充実」18.2%、「消防団員の育成・確保」19.7%、「地域の自主防災組織の育成・充実」20.7%、「防災の中心的担い手となる地域防災リーダーなどの人材の育成」21.2%、など地域の防災への関わりが必要であるとする回答が少なくなっています。



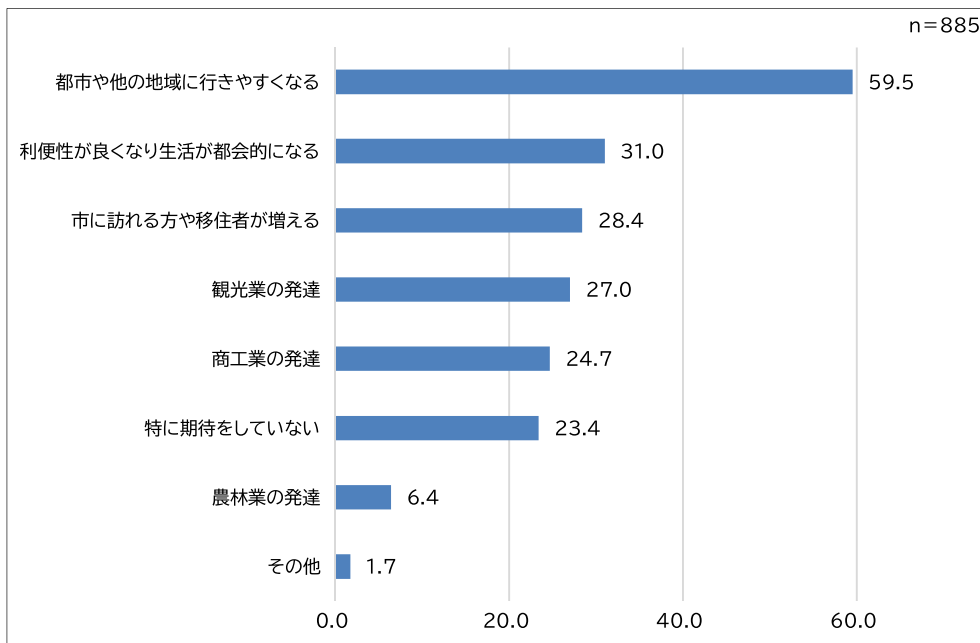
問18 市内道路の通行しやすさについて

市内の道路が徒歩や自転車で安心して通行できるかについては、「そう思う」と「ややそう思う」が合わせて29.7%となっています。令和6年に比べて割合は減少しています。



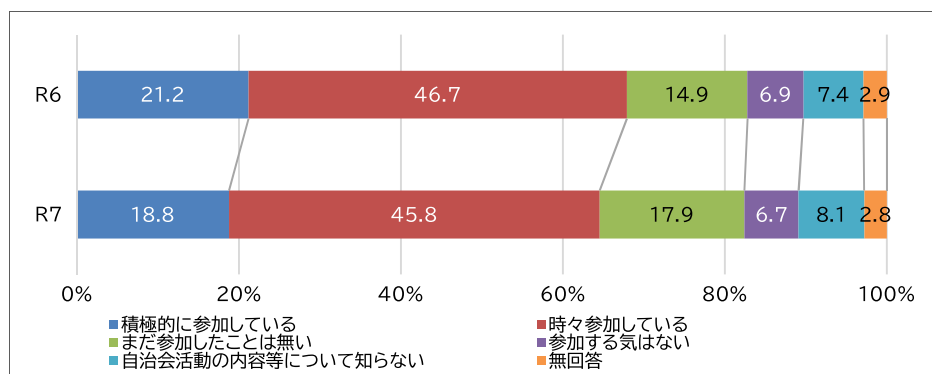
問19 リニア中央新幹線に期待することについて(複数回答)

リニア中央新幹線に期待することについては、「都市や他の地域に行きやすくなる」59.5%が最も多くなっています。一方で「特に期待をしていない」との回答は23.4%となっています。



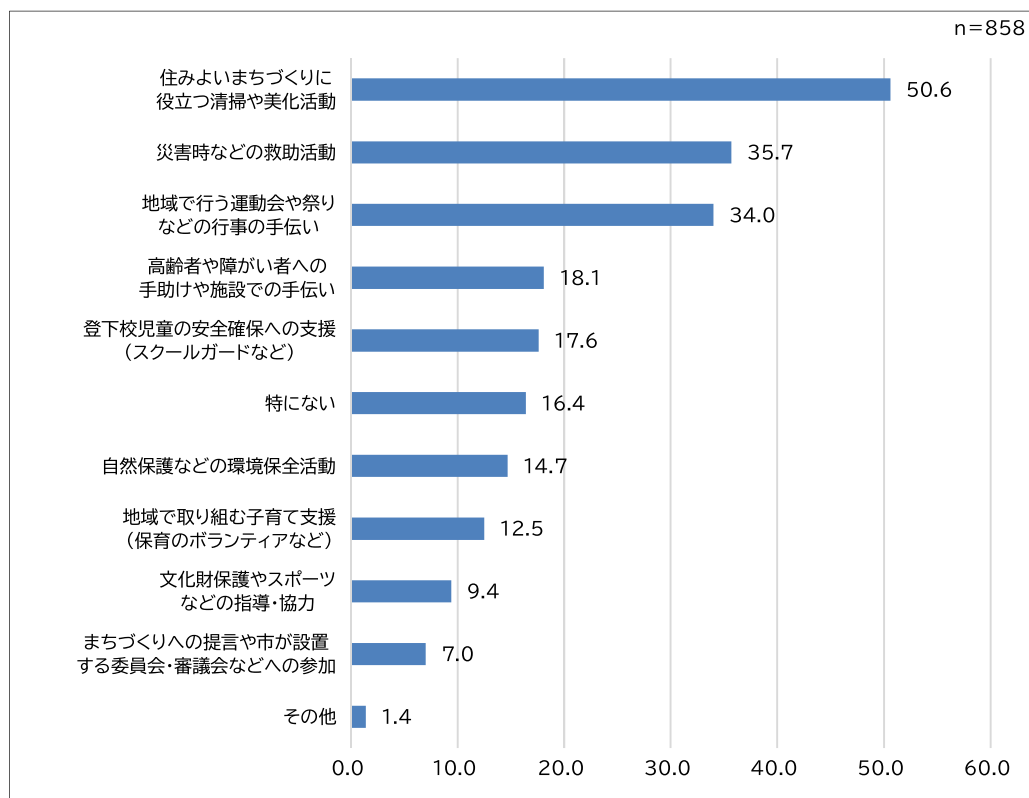
問20 地域の自治会の担い手としての参加状況について

地域の自治会の担い手としての参加状況については、「積極的に参加している」と「時々参加している」が合わせて64.6%となっています。令和6年に比べて割合は減少しています。



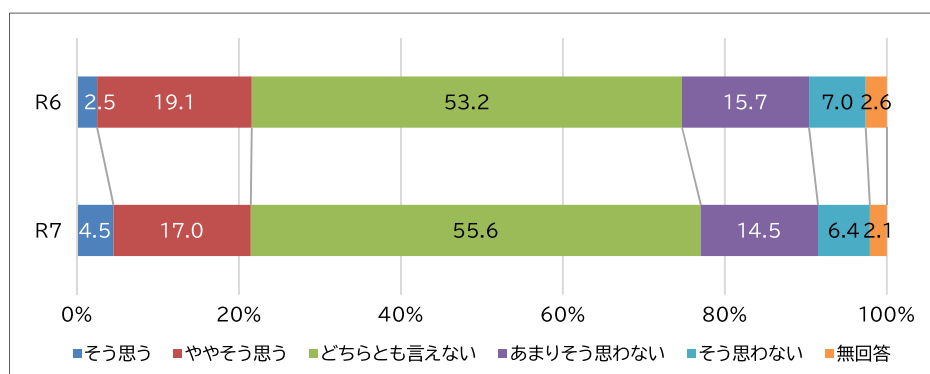
問21 参加しても良いと考える公共的活動について(複数回答)

参加しても良いと考える公共的活動については、「住みよいまちづくりに役立つ清掃や美化活動」50.6%が最も多く、以下「災害時などの救助活動」35.7%、「地域で行う運動会や祭りなどの行事の手伝い」34.0%が続いています。



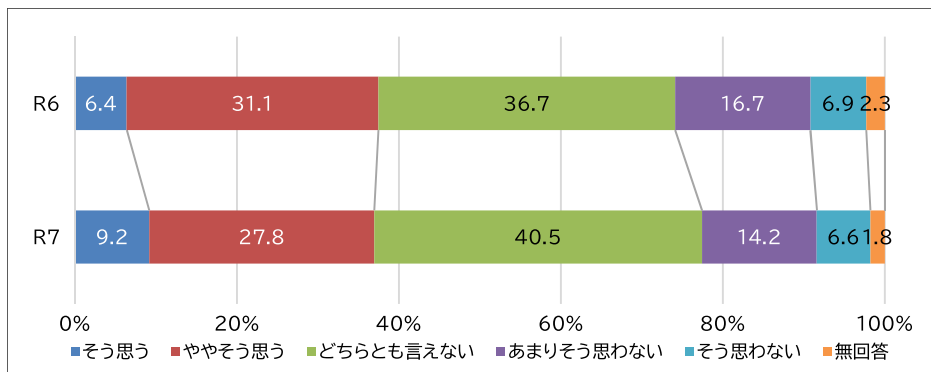
問22 市民の意見が市政に反映されているかについて

市民の意見が市政に反映されているかについては、「そう思う」と「ややそう思う」を合わせて21.5%となっています。令和6年に比べて「そう思う」との回答が増加しています。



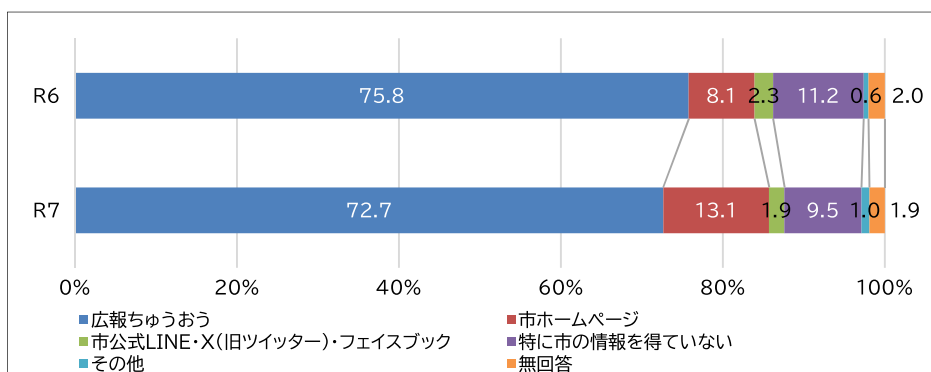
問23 中央市からの情報の入手しやすさについて

中央市からの情報が入手しやすいと思うかについては、「そう思う」と「ややそう思う」が合わせて37.0%となっています。令和6年に比べて「そう思う」との回答が増加しています。



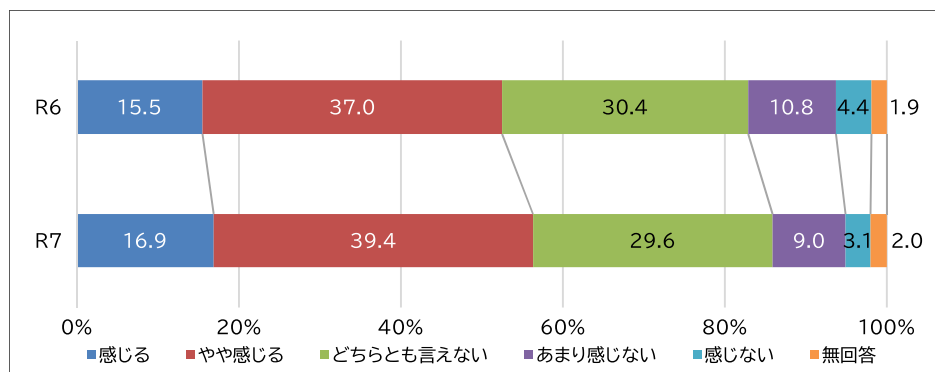
問24 中央市からの情報の入手先について

中央市からの情報を何から得ているかについては、「広報ちゅうおう」が72.7%、「市ホームページ」が13.1%、「市公式LINE・X(旧ツイッター)フェイスブック」が1.9%、となっています。「特に市の情報を得ていない」との回答は9.5%となっています。令和6年に比べて「広報ちゅうおう」の割合が減少する一方で「市ホームページ」との回答が増加しています。



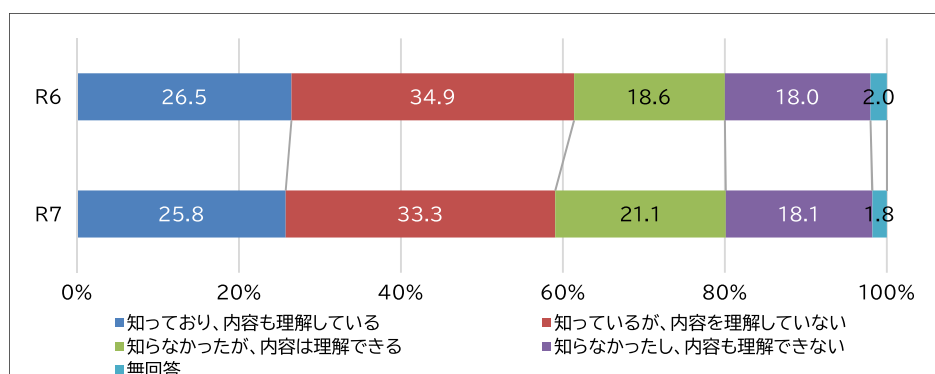
問25 中央市に誇りや愛着を感じているかについて

中央市に誇りや愛着を感じているかについては、「感じる」と「やや感じる」が合わせて56.3%となっています。令和6年に比べて割合は増加しています。



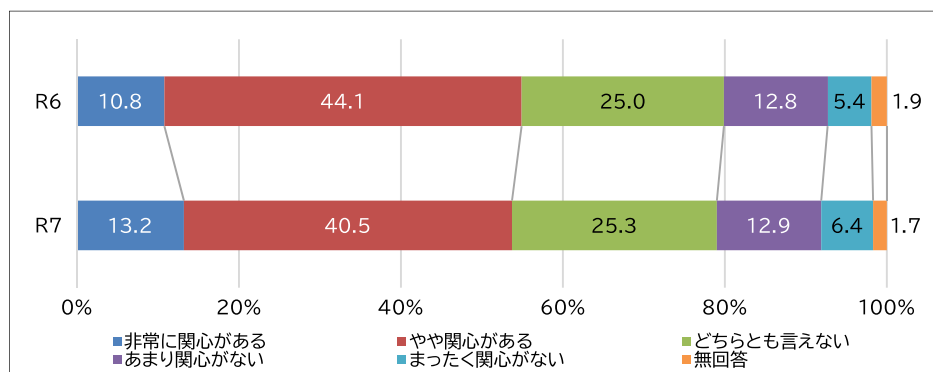
問26 カーボンニュートラル宣言の認知度について

カーボンニュートラル宣言の認知度については、「知っているが、内容を理解していない」33.3%が最も多く、次いで「知っており、内容も理解している」25.8%が多くなっています。令和6年に比べて認知度はやや低くなっています。



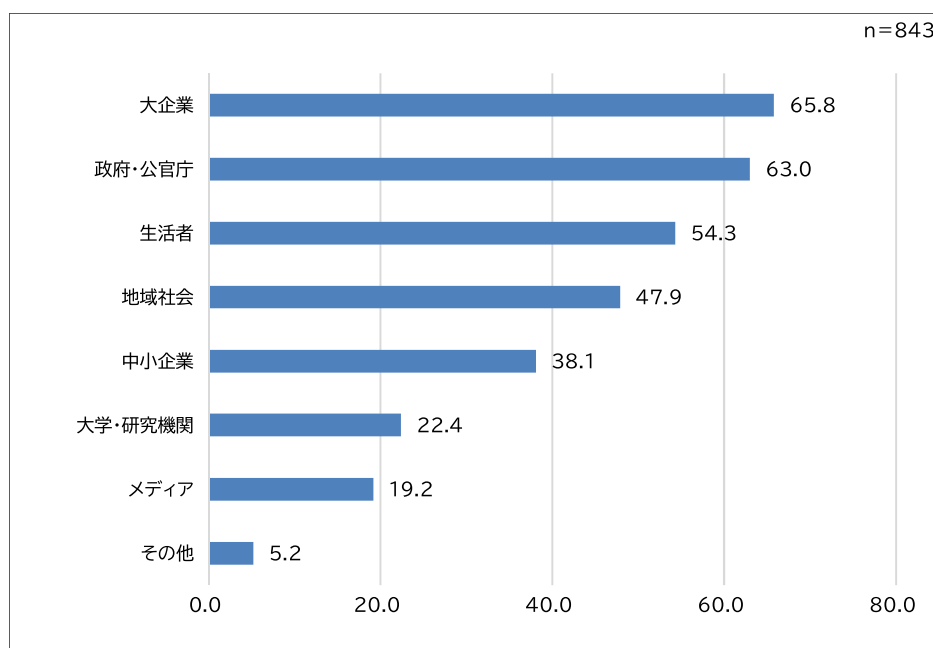
問27 脱炭素に関心があるかについて

脱炭素に関心があるかについては、「非常に関心がある」と「やや関心がある」が合わせて53.7%となっています。「まったく関心がない」との回答は6.4%となっており令和6年からやや増加しています。



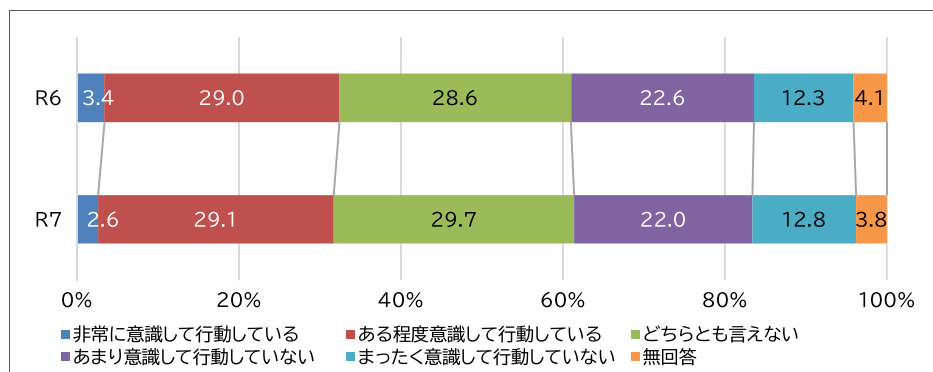
問28 脱炭素に誰が取り組むべきかについて

脱炭素に誰が取り組むべきかについては、「大企業」65.8%と「政府・公官庁」63.0%が多くなっています。



問29 脱炭素を意識して行動しているかについて

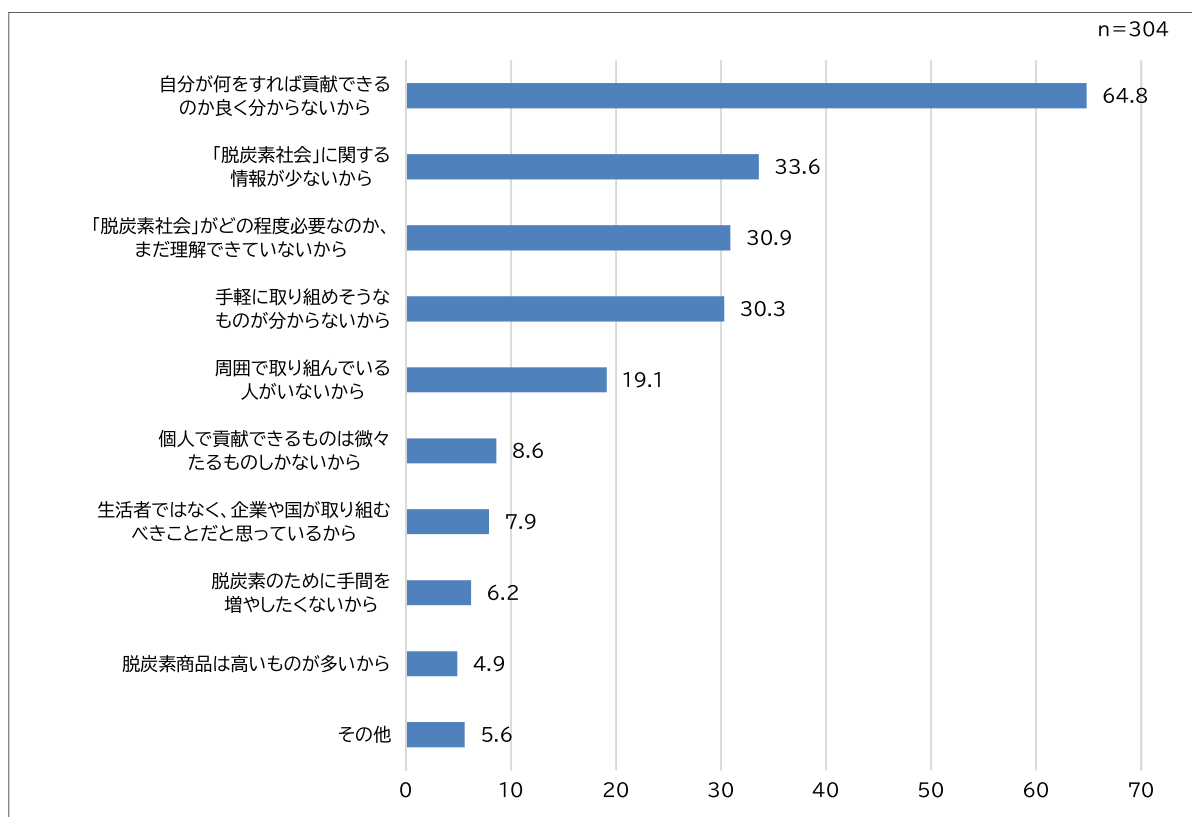
脱炭素を意識して行動しているかについては、「非常に意識して行動している」と「ある程度意識して行動している」が合わせて31.7%となっています。令和6年から大きな変化はありません。



問29で「あまり意識して行動していない」「まったく意識して行動していない」と回答した方

問29-1 脱炭素に取り組めていない理由について

脱炭素に取り組めていない理由については、「自分が何をすれば貢献できるのか良く分からないから」64.8%が最も多くなっています。



問30 脱炭素の効果的な取り組みについて

脱炭素の効果的な取り組みについては、「太陽光発電設備の導入」44.0%が最も多く、次いで「照明設備のLED化推進」42.5%が多くなっています。

